東北駆け込み寺 いろは横丁だより
2025.03.01
54号

「認定NPO法人ロージーベル」理事長　大沼えり子さん

10年来のお付き合いのあるロージーベルの大沼さん。 昨年12月にお訪ねした時にお手伝いしてくれる相談員を紹介してと依頼がありました。とても大切な活動をされている団体なので、有資格者の相談員に話したら3名の方が協力してくれる事になりました。


【大沼えり子さん
ロージーベルHPより】

「泣いたり笑ったり説教したり、相変わらずいっそがしーなー」今回ご紹介する認定NPO法人ロージーベル理事長、大沼えり子さんを表す言葉を探している時に、手元にあった著書「君の笑顔に会いたくて」最終章の青年の言葉が目に入りました。ともかく感情豊かで良くしゃべり、エネルギッシュな方です。

大沼さんは、DJやシンガーソングライターの活動をしながら、保護司として少年達の更正に力と愛情を注いできました。少年院での院内放送「カントリーボーイ」では、今もロージーの名でエールを贈り続けています。

大沼さんが「ロージーベル」設立を思い立ったきっかけはある少年からの手紙でした。そこには、少年院からの仮退院（満了前に退院し、保護観察のもと更正可能と判断されれば正式退院となる）が、家族もおらず、誰も引き受け先がないためにできずにいることが書かれていました。それにも関わらず「頑張ります」と綴ってありました。

「彼らの帰る家をつくりたい」、罪を犯すことはどんな理由でも許されることではないけれども、その背景には虐待やいじめ等、彼ら自身が被害者で懸命に助けを求めていることを強く感じていたといいます。そして、彼らの心が安らぐ居場所として、「少年の家」を立ち上げる決意をし、多くの方の賛同と協力を得て、2008年にNPO法人「ロージーベル」を設立、2011年1月には目標であった「少年の家」を立ち上げました。個々の少年達との関わりについては前述の著書にも書かれていますが、直ぐにも壊れそうな危うさの中で苦しみ生きている少年達に対して、綺麗ごとではなく、1人の人間として喜怒哀楽を表し、傷つきながらも正面から向き合う姿には愛の凄みを感じます。

大沼さんの実話をもとに2007年と2010年にはテレビドラマ「ガラスの牙」（TBS系列、日本民間放送連盟優秀賞）が放映、2017年には映画「君の笑顔に会いたくて」が上映され、崩壊しつつある家族の中で苦悩する子ども達と向きあう姿が描かれています。

現在、ロージーベルは高い公益性を持つ認定NPO法人となり、特に苦境にある少年、青年たちを「少年の家」で支え、加えて自立の入口に立つための住居の提供もはじめるなど、その歩みを止めていません。

冒頭で引用した著書の最後に青年は「俺さ、いまさらだけど、生まれてきて良かった」と語っています。　（文責K.Y）

Rosy Bell 【ロージーベル https://rosybell.jp/】

「かけこみ未来塾」新しい教室開設

何らかの理由で有料塾に通えない子ども達に、無料で学習支援を行っている「かけこみ未来塾」。
今までは、いろは横丁相談室やサポセンと場所を変えながら開催していましたが、3月1日より新たにな場所で行うことになりました。
「ファイブブリッジ」
〒980-0023　仙台市青葉区北目町4-7　HSGビル3階
（いろは横丁から徒歩10分）




2025年2月の相談状況

【相談内容別】

・心の問題	11件
・孤独、寂しい	5件
・ホームレス	3件
・お金の問題	3件
・職場の問題	3件
・その他	2件
・家庭の問題	1件
・恋愛の問題	1件
・自殺の問題	1件
・知人友人問題	1件
・ひきこもり	1件
・近隣の問題	1件
・性の問題	1件
・病気の問題	0件
合計	34件

【年代別】

・10代	1件
・20代	5件
・30代	11件
・40代	4件
・50代	6件
・60代	2件
・70以上	0件
・不明	5件
合計	34件

【男女別】

・男性	20件
・女性	13件
・不明	1件
合計	34件

【2月のボランティア延べ人数　90人】

相談員ボランティア募集中
tohoku.kakekomidera@gmail.com
一般社団法人東北駆け込み寺
〒980-0811 仙台市青葉区一番町2丁目3-28
022－200－6002